



平成 29 年 5 月 22 日

北洋銀行との基幹系システム共同化に関する本格的検討の合意について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、平成 29 年 5 月 22 日（月）、基幹系システム^{※1}を共同化した第四銀行（頭取 並木 富士雄）、中国銀行（頭取 宮長 雅人）及び日本アイ・ビー・エム株式会社（代表取締役社長 エリー・キーナン）とともに、北洋銀行（頭取 石井 純二）が基幹系システムの共同化に関する本格的検討を行うことについて同行と合意いたしましたので、お知らせします。

当行、第四銀行、中国銀行、北洋銀行の各行は、これまで「TSUBASA金融システム高度化アライアンス」^{※2}において、フィンテックに関する調査・研究のほか、シンジケートローンの共同組成や国際業務分野での協業などさまざまな分野で連携の幅を広げております。

今後、関係各行（社）はシステムの開発内容や共同化によるコスト負担方式などの検討を進め、平成 30 年上期中の最終合意を目指してまいります。

- ※1 銀行システムにおいて、ホストオンライン・バッチシステムを中心とした中核となるシステム群。行外との連携用システム、サブシステムとのデータ連携用システムなどを含む。
- ※2 フィンテックをはじめ先進的な I T 技術を調査・研究するために発足した枠組みで、現在、千葉銀行、第四銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、北洋銀行の 6 行が加盟している。

以 上